資料４

日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）

東日本大震災をきっかけに、大規模自然災害発生時、迅速に
被災地での栄養・食生活支援活動を行うために、2012年に
「日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT：The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team）」を設立しました。

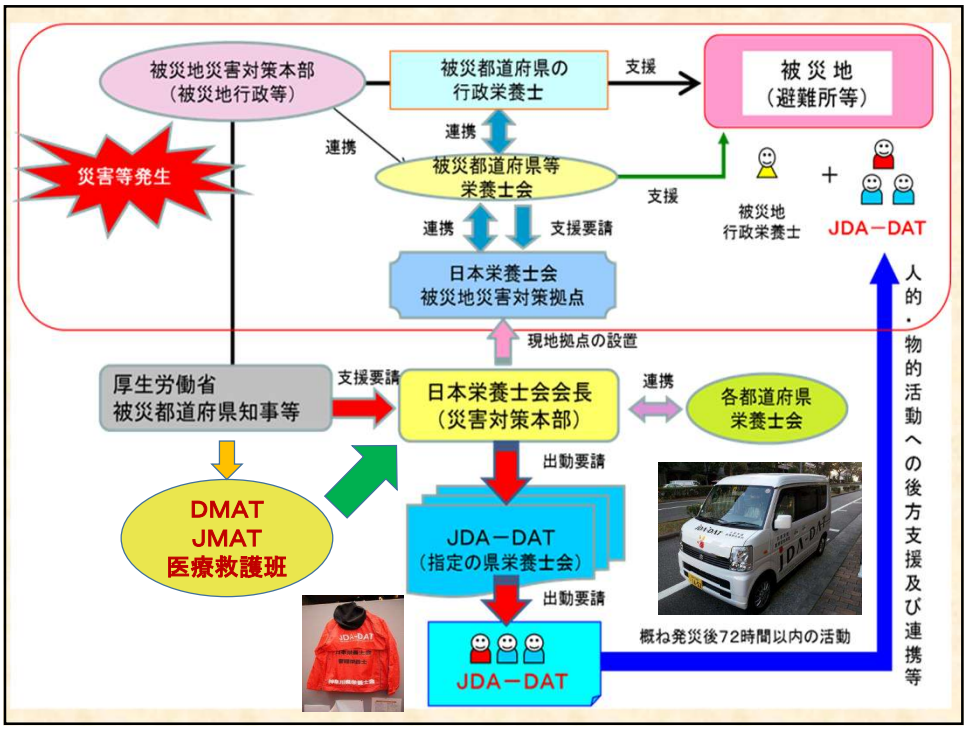
The Japan Dietetic Association － Disaster Assistance Teamの
頭文字をとって略して
JDA-DAT（ジェーディーエーダット）と呼びます。

国内外で大規模災害が発生した地域において、避難所、施設、
自宅、仮設住宅等で被災者に対する栄養に関する
支援活動ができる専門的なトレーニングを受けた栄養支援チームです。









公益社団法人日本栄養士会 災害支援チーム（JDA-DAT）

令和6年能登半島地震での栄養・食支援活動

第一報

日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）は、保健医療活動チームの一組織として、多職種チームとの連携協働、及び管理栄養士等行政栄養関係者の関与の下、地域や避難所の実情を十分に考慮した**栄養・食支援活動を継続的に実施**することを責務とする。

1　日本栄養士会のこれまでの対応（1月4日 11:00時点）

- **JDA-DAT先遣隊派遣**（1月2～3日）
  石川県健康推進課、石川県栄養士会、厚生労働省健康課栄養指導室との協議（1月2日）
- **~~日本栄養士会災害対策本部の設置（1月2日 20:30設置）~~**
- 石川県保健医療福祉調整本部及び石川県栄養士会と連携し、
  特殊栄養食品ステーションの設置（乳幼児、高齢者、病者など要配慮者向け食品）
  （1月3日 13:30 七尾市内の認定栄養ｹｱ・ｽﾃｰｼｮﾝに設置）

特殊栄養食品ステーション



- **JDA-DAT号の配備**（1月3日 13:30　七尾市内に配備）

DMAT物資調整チームとの連携



- 災害対策本部及び保健医療調整本部との調整により、
  公立能登総合病院（DMAT拠点）へ液体ミルク搬入。
  能登半島北部地区で液体ミルクを要する避難所へは
  DMATチームに持参依頼。
- **賛助会員等企業への支援物資の提供依頼**と搬送等調整（1月4日）

JDA

2　日本栄養士会の今後の活動

【当面１週間以内を目処に対応】

- 被災地への**JDA-DATリーダー派遣調整**（近隣県栄養士会への依頼）
- **JDA-DAT指揮車両等の追加配備及び物資搬送**
  （災害緊急車両は3台以上配備予定）
- **特殊栄養食品ステーションサテライト拠点**の設置
  （能登半島北部拠点へ設置）
- 支援金の募集





3　栄養・食支援活動における課題

- 避難生活の長期化に伴い、エネルギー・栄養素摂取不足の影響による**栄養不良や体力低下が顕著**になる。
- 栄養不足の回避、生活習慣病の発症・重症化予防、生活の質の向上等のために、日中の作業量や健康・栄養状態等を踏まえた食事の提供や評価を行うなど、**適切な栄養管理を図る体制の整備が急務**である。

日本栄養士会としての活動

避難所等の栄養・食生活支援体制を整えるため、管理栄養士等の行政栄養関係者と連携した活動が必要

更なる情報収集(被災状況・支援ニーズ)及び人的支援を進め、被災地への継続的な栄養・食支援活動を行う。
厚生労働省をはじめ、保健医療活動チームなど多組織との連携を強化する。

JDA